

平成27年度東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練

東京ヘリポートでは、年に一回、空港施設の保安に係る緊急事態発生時の対処について所轄警察署等と連携して訓練を実施しています。

今回は、10月14日（水）東京湾岸警察署の協力のもと訓練を実施しました。

概要及び訓練内容は以下のとおりです。

- 訓練名 平成27年度東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練
- 日時 平成27年10月14日（水）
第一部 通報訓練 13時30分から14時00分
第二部 実地訓練 14時45分から15時35分
- 場所 東京ヘリポートエプロン内センタースポット
- 主催 東京港管理事務所、警視庁東京湾岸警察署
- 協力 東京ヘリポート安全連絡協議会、（一財）航空機安全運航支援センター
（株）エグゼクティブプロテクション
- 訓練内容 ①通報訓練
②不法侵入対応及びハイジャック防止訓練

第一部の通報訓練では、東京ヘリポートエプロン内で巡回中の警備員が、不審車両に乗っていた犯人に捕まり人質にされ、管理事務所から職員が事態を発見した想定としました。

緊急連絡網に沿って警察及び関係機関に通報すると共にエプロン内にいる作業員等に対し、避難を呼びかける場内放送を行いました。



所内の通報訓練の様子



ヘリポート場内への一斉放送の様子

第二部の実地訓練では、ヘリポート南ゲートから侵入したとみられる不審車両がスポット上に停車し、巡回中の警備員が不審車両に近づいたところ、車の中から人が現れ、警備員を刃物で脅し人質に取ります。



① 人質を盾に刃物で威嚇する犯人



② 現場に到着した警視庁車両

犯人は、現金とヘリコプター、パイロットを要求します。

到着した「警察官」と刺又を持った「ヘリポート警備員」が協力して犯人を制圧、逮捕というシナリオで訓練を行いました。



④ 警察官と警備員に制圧される犯人



③ 警察官に抵抗する犯人

訓練の後、東京湾岸警察署からテロ犯罪の現状や保安について講義が行われました。

本訓練では、東京ヘリポートで警備業務を委託している警備会社社員が訓練に参加し、警察官と連携することで、より効果的な訓練を行うことができました。



テロ犯罪の現状や保安の講義



最後に参加者全員で記念撮影

東京ヘリポートでは、訓練を通して、航空運航会社を始めとする関係機関と緊急事態発生時の連絡体制や保安体制の向上を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてより一層ハイジャックやテロ犯罪の防止に努めていきたいと考えています。

(東京港管理事務所港務課)